

天位（弁天歴史公園通りに句碑を建立）

一太刀の光を海に雷鳴す (北見市 松平知子)

地位

はまなすや河口のまちを明るうす (石狩市 小泉澄子)

群来再来鯉ご殿の朽ちしまゝ (北見市 五十嵐信男)

園児らは光のつぶて野に遊ぶ (倶知安町 中野彰一)

はららご（魚へんに而）の光る石狩浜の市 (石狩市 笠原泰江)

打水の手桶に伊達の紋所 (札幌市 俵いさみ)

人位

羊蹄山の水の光りに種つける (札幌市 長瀬春枝)

海光にはまなす色を深めけり (小樽市 村上千代)

むらさきは母校のしるし花菖蒲 (せたな町 笹森君子)

潮騒に暮るる砂丘や実はまなす (小樽市 佐々木順子)

あたたかや光を刻む花時計 (札幌市 藤原昭女)

風光るかって名うての暴れ川 (枝幸町 柳田春一)

産土は石狩河口鮭風 (小樽市 松本こうせい)

くちなはの通りて草の発光す (遠軽町 宮坪勝美)

草刈って大きくなりし道祖神 (遠軽町 宮坪勝美)

百年の村名消えし海開く (石狩市 丹野巨川)

電話なるコインロッカー夏の果 (札幌市 柴田襄子)

提げてきし金魚とともに疲れけり (幕別町 古住蛇骨)

独活を引く土におもはぬ力あり (幕別町 古住蛇骨)

昆布干す足形砂に光りけり (石狩市 中矢真弓)

海の日海の光をもらひけり (東京都 大久保さく子)

佳作

源流の光に岩魚釣り上げる (福島町 花田星河)

雪解光老いの背筋を伸ばしけり (幕別町 横山利光)

湧泉の光るところを掬ひけり (登別市 木村凍邨)

炎昼や歪に光るビルの窓 (福島町 藪内峡泉)

蝉時雨旧駅通の梁光る (北広島市 佐藤正文)

大障害越へる輓馬の汗光る (清水町 西川勝杉)

夏の日をはじき飛ばして堰の水 (帯広市 仁井峯花)

春光を溜めて水門まだ開かず (石狩市 小泉千孝)

噴水の風に流れる光かな (羅臼町 竹内日奈)

狛犬の阿吽に光る蜘蛛の糸 (札幌市 和田伯遊)

夏草の光はじきて駆ける馬 (札幌市 猪俣総恵)

魚釣りの子ら春光も揺らし来る (洞爺湖町 菅原敏子)

光ごと波弾み来る海開 (東京都 大久保昇)

草臥れし午睡の夫にメモを置く (室蘭市 中畑雪絵)

蚯蚓鳴く兜太が詠めば兜太の句 (登別市 工藤信樹)

せせらぎの光りみだして跣の子 (洞爺湖町 矢野知子)

甚平やすでに失せたる力瘤 (洞爺湖町 矢野知子)

お手玉の小豆煮ていた終戦日 (登別市 山口キミ)

初雲雀天地返しの土光る (室蘭市 渡辺清乃)

白内障癒へて春光賜りぬ (登別市 縫部節子)

【選者】

小西龍馬 氏 (北海道俳句協会会長 北海道ホトトギス会会長)

松倉ゆずる 氏 (俳誌アカシア主宰)